

ノボロギク (野幌菊)

名前の意味：野原いみに生える幌菊ぼろぎくの意味。ボロギクとは、サワギクのことで、花の集まっている様子がぼろ布のように見えるから

分類：双子葉類、キク科、キオン属

(キク科の栽培植物さいばいしょくぶつ：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ

特徴：縁がぎざぎざの葉、黄色い筒状の花

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：5枚、合弁ごうべん (花びらがつながったまま落ちる)、小さくてよくわからない

花の時期：3—5月

食べ方：お浸しひたにすると食べられる。シュンギクのような味。

見分け方：オニタビラコは、葉の大部分が根元につく。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)